

令和5年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	13	氏名	辻村岳瑠 議員	1 / 2
発言項目		要 旨				答弁者
1	富士宮市戦没者追悼式事業について	<p>戦後80年近くが経過している今、我々は終戦の日に開催されている戦没者追悼式の意義である「戦没者の追悼」及び「世界恒久平和の祈念」を再認識し、戦争の惨禍を繰り返さないよう改めて不戦の誓いを立てる必要がある。以下伺う。</p> <p>(1) 富士宮市戦没者追悼式への遺族の参列者数の推移について伺う。また、他市における戦没者追悼式の開催状況及び参列者数と比べてどうか。</p> <p>(2) 時間の経過とともに戦争の記憶が風化してしまっているように感じる。より多くの市民に戦没者追悼式に参列していただきたいと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>(3) 富士宮市戦没者追悼式において、小中学校において取り組まれている平和を想う作文コンクールの表彰式が行われているが、市内のすべての小中学校が平和を想う作文に取り組んでいるわけではない。最近では連日のようにロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関する報道がされており、戦争が身近になっているように感じる。より多くの市民が戦争について考えるきっかけとなるよう、市内すべての小中学校において平和を想う作文に取り組むことを提案するがいかがか。</p>				市長 副市長 関係部長
2	人口減少時代の市街化調整区域の土地利用計画について	<p>第5次富士宮市総合計画において、芝川地域の土地利用計画は自然環境を生かしたものとされている。今後の大きな変化である人口減少や経済縮小を考慮して土地利用計画も変化する必要があると考える。第6次富士宮市総合計画では、芝川地域の西側エリアを活性化することが、市全体の発展につながると考える。なぜなら、新清水インターチェンジをはじめ中部横断自動車道の全面開通は、市に与える影響を考えると可能性が大きいからである。地域の魅力を生かした新たな産業創出や、道路網を生かした観光施設及び商業施設を誘致することにより、経済縮小や人口減少の影響を最小限に抑える将来土地利用構想について伺う。</p> <p>(1) 第5次富士宮市総合計画には「新清水インターチェンジ周辺地域の交通利便性を生かし流通産業の導入を進める」と構想はしているが、基本計画及び土地利用構想図には反映されていない理由について伺う。</p> <p>(2) 静岡市の区別構想図清水区において、新清水ジャンクションと新清水インターチェンジの整備を含む広域連携軸や産業検討拠点として計画している。土地利用構想の広域連携をしていく目的から、市全体のバランスのとれた発展を促進するための、土地利用構想について市の考えを伺う。</p> <p>(3) 県の定める岳南広域都市計画に即するものとして、市の定める総合計画や都市計画マスタープランがある。これまでどおり富士市との連携はしつつ、西側エリアの清水区とも連携した土地利用構想が必要だと考えるが市の考えを伺う。</p> <p>(4) 2040年を見据えた芝川地域の土地利用構想に関して、市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 関係部長

発言 順序	7	議席 番号	13	氏名	辻村岳瑠 議員	2/2
発言項目			要 旨			答弁者
3	指定避難所の体育館の空調設備と非常用電源について	<p>今年の夏は記録的な暑さであったにもかかわらず、指定避難所の体育館ではエアコンが整備されていないという状況が報告されている。以下伺う。</p> <p>(1) 体育館への空調設置の国庫補助対象の検討状況について伺う。</p> <p>(2) 災害時には非常用電源の確保も重要である。体育館の屋根に太陽光パネルを設置して、非常用電源を確保することについて市の見解を伺う。また、再生可能エネルギーの有効的な導入であり、富士宮市ゼロカーボンシティ推進戦略にも沿ったものであると考えるがいかがか。</p>			市長 副市長 関係部長	